

# 清流だより

令和4年 6月16日(木)

北西中学校だより 発行 廣瀬正純



学校教育目標  
「心豊かで かしこく  
たくましい生徒の育成」

## 避難訓練・引き渡し訓練

6月1日避難訓練・引き渡し訓練を行いました。引き渡し訓練ではご協力をありがとうございました。地震はいつ起きるかわからない、予測ができない災害です。だからこそ生徒たちが自分で考え行動できることが重要です。今回は簡単なワークシートを使って、避難訓練について考えてもらいました。

### 生徒感想

- 本当に地震があったとき、みんな慌ててしまい、ごちゃごちゃしちゃうと思うから自分が冷静に声をかけられればいいとおもった。
- 本当に起こったら「ここがあぶないな」とか「ここにいたらどうしよう」とか考えられた。改善として周りに呼びかけつつ、自分が積極的に動く。
- ここが危なそうと考えていたので、意識しながら避難することができた。
- 廊下に並ぶときに教室のドアのところで廊下に出られずに止まっている人がいて、後ろが詰まっていたから、順番関係なくでればよりよかったと思う。
- 慌てず落ち着いて避難することができた。人が多いところはゆずり合ったりして安全に避難した。避難するときに危険そうな場所を探したり本当に起きたときのことを考えることができた。
- 段差や窓ガラスを気にして行動することができた。頭を守ることを第一に行動することができた。
- 実際に起きていないからあまり緊張はしなかったが、実際起きたと考えて行動しようとするとき誰かの指示がないとうまく動けない気がした。危険位置をやっぱり事前に確認しておくことが大切だと思った。
- 階段を降りるときにみんなが急いでいて混雑をしていて転びそうになったので、足下に注意してしずかに避難できるようにしたいと思います。窓が割れているなどの可能性を考えないで避難してしまっていたので、意識して行動したいです。
- 避難経路を頭の中で確認しながら、先のことを考えることができた。並ぶときはしっかり後ろだけではなく、横も確認して、自分の周りでいない人がいるか見ることができた。
- 訓練とわかっていたから冷静に対応できたけど本番を想定してできなかった。防災頭巾をしていて声が聞き取りづらいところもあったけど、しっかり指示を聞いて行動することができました。
- 前だけでなく周りまでよく見て行動できるようにしたい。今日は階段や少しの段差までよく確認

できたので本当に避難しなければいけなくなった時に、転ばないようにしたい。避難訓練を生かして本番でも「考動」できるようにしたい。

○前の人は外に出たときに走っていたけど、後ろの人は歩いている人がいた。訓練でも自分たちとしてちゃんとできるように次も意識してやりたい。

○落ちつて素早く今はどんな時なのか、どんな行動をすればいいのかなどを考えて避難ができた。下ばかり見ていたので次は周りのことを見て行動できたらいいなと思った。

○避難しているときにしゃべっている人がいた。しゃべらないで素早く行動する。階段を降りるときに急いで降りると転んでしまうので、ゆっくりあせらないで降りることができた。机の下にかくれるとき頭を入れて机の脚を斜めに持つことができた。

○あまりここ危険だななど思ったり、見つけたりできなかった。次は気をつける場所をしっかりと見つけ、もし地震が起こったときにパニックになっても判断できるようにしたいです。

○避難訓練だとしても真剣に望むことができたから、次も続けたい。

○教室から校庭への移動をスムーズにできていたが、鳴る前から準備をしていたり、もし地震が来たときは違う避難になっていた。これからも、もっと訓練をしておぼえた方がいいと思った。

○自分の防災頭巾のゴムがゆるゆるになっていることに気づいたので直そうと思う。

3. 2. 1年生の感想ですが、どうでしょうか？ それぞれの生徒が避難経路を確認し、その中の危険箇所を考えたり、訓練だけれど本当に地震が起こったらどうしたらいいだろうと考えたり、真剣に訓練をしていることがわかります。特に3年生は、自分のことだけでなく、周りを見て声をかけたいという感想が多く見られました。

保護者と生徒と一緒にできる訓練は今回の引き取り訓練だけとなります。これを機会にご家庭でも地震が起きた場合に、どんな状況になり、どう避難したらいいか、どこへ避難するかなどお子さんと確認をお願いします。

総合体育大会に向けて

6月17日18日に行われる総合体育大会に向けてそれぞれの部活動が練習に力を入れています。応援練習の声も聞こえるようになりました。3年生にとっては最後の市総体になります。精一杯の力を発揮してほしいと思います。結果については学校便りでお知らせできると思います。